

弛まぬ努力で
更なる高みを目指す



錦小学校
田中 謙臣さん(5年)

プロフィール

小学1年生でボウリングを始める。昨年8月に開催された第11回全日本小学生ボウリング競技大会小学4年生男子の部で優勝。令和3年度うつのみや市民賞を受賞。

昨年8月に、愛知県で開催された第11回全日本小学生ボウリング競技大会。本大会では、小学4年生・5年生・6年生のカテゴリーに分かれ、全国の代表選手が出場し日本一を争います。本大会に出場した田中謙臣さんは、4年生男子の部で、見事、優勝を果たしました。

田中さんは、6ゲームを投げて合計スコア上位10名が準決勝に進める予選を1位で通過すると、3ゲームを投げて競う準決勝も続けて1位で通過し、上位2名で競う決勝へと勝ち進みました。決勝は1ゲームのみの対戦となるため、予選・準決勝を順調に勝ち進んだ田中さんも「何が起るかわからないため注意して臨んだ」と話します。結果は、対戦相手に20ピン以上の差をつけて快勝し、見事、優勝をつかみ取りました。

勝因について、「他の出場者は試合がライブ中継されるなど、普段と環境が異なる全国の舞台で緊張していたが、自分は、緊張せず楽しんでプレーできた。普段の練習量から自信を持って大会に臨むことができた」と振り返ります。

田中さんにはコーチがついていないため、プロ選手の動画などを独学で研究し、練習に取り組んで

います。多い時には1日に60ゲーム、1週間で120ゲームを練習で投げることもあり、豊富な練習量に裏付けされた確かな実力で、自信を持って大会に臨みました。また、本大会が、田中さんにとって初めての全国規模の大きな大会でしたが、家族からボウリングを楽しむようアドバイスを受け、緊張せず普段の力を発揮することができました。

田中さんの日々の努力は実を結び、今年3月に開催された第39回下野杯オール栃木チャンピオンシップトーナメントは年齢制限がなく、大人の選手と対戦する大会でしたが3位に輝き、公認大会では自身初のパーフェクトゲームを達成するなど活躍が続きます。

今後の目標は、今年8月に開催される全国大会での2連覇。そして再来年の大会での3連覇を見据えています。そのために、市外や県外のボウリング場へ練習に訪れ、さまざまなレーンを経験することで、どのような環境でも対応できる能力を養うよう取り組んでいます。

将来は国体への出場や、日本代表で活躍することを夢見る田中さん。夢に向かって笑顔の投球が続きます。